



2022年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月6日

上場会社名 サンケイ化学株式会社 上場取引所 福
 コード番号 4995 URL <http://www.sankei-chem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務本部長 (氏名) 福谷 理 TEL 099-268-7588
 四半期報告書提出予定日 2022年10月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2022年11月期第3四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第3四半期	5,406	0.4	330	△25.2	378	△23.0	270	△20.7
2021年11月期第3四半期	5,384	7.0	441	155.6	492	133.9	341	128.8

(注) 包括利益 2022年11月期第3四半期 322百万円 (△11.2%) 2021年11月期第3四半期 362百万円 (204.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第3四半期	282.65	—
2021年11月期第3四半期	356.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年11月期第3四半期	8,094	3,291	39.3	3,321.95
2021年11月期	7,640	2,995	37.7	3,009.60

(参考) 自己資本 2022年11月期第3四半期 3,183百万円 2021年11月期 2,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2022年11月期	—	0.00	—		
2022年11月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,930	△1.5	230	△41.4	291	△35.9	204	△35.0	212.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年11月期3Q	1,019,700株	2021年11月期	1,019,700株
② 期末自己株式数	2022年11月期3Q	61,424株	2021年11月期	61,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年11月期3Q	958,278株	2021年11月期3Q	958,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、物価上昇や新型コロナウイルス感染拡大の影響がありながらも個人消費や企業の設備投資が増加し回復傾向は維持されましたが、ウクライナ紛争の長期化によりエネルギー価格が高止まりしていることや欧米の景気が金利の急上昇により後退することが懸念されるなど経済下振れのリスクもあり、先行きが不透明な状況が続いております。

国内の農業を取り巻く環境に関しましては、円安による輸入農産物のコスト増大や食料安全保障の重要性が再認識されたことで、長期的には国内産農産物の需要拡大や国内農業を見直す機運の高まりが期待されますが、足元では肥料や飼料をはじめとする農業資材や燃料価格の高騰により国内の農業を取り巻く厳しい状況は続いております。

このような状況のもと、当社グループでは従来からの地域密着を基本に、水稲用殺虫剤「スクミノン」、園芸用殺虫剤「サンケイ コテツベイト」および食品由来物質を用いた「サンクリスタル乳剤」、「ハッピー乳剤」などの食用作物用独自開発品ならびに環境と樹木への負荷を軽減した樹幹注入剤「ウッドスター」などの緑化用独自開発品に加え、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業ならびに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は54億6百万円（前年同期比21百万円、0.4%増）となりました。損益面では営業利益は3億30百万円（前年同期比1億11百万円、25.2%減）、経常利益は3億78百万円（前年同期比1億13百万円、23.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億70百万円（前年同期比70百万円、20.7%減）となりました。

なお、当社グループでは「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日改正。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前年同期との比較は基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

当社グループの事業は単一セグメントであります。製品の用途別売上は以下のとおりとなりました。

殺虫剤は緑化用が減少し売上高は29億円（前年同期比1億11百万円、3.7%減）、殺菌剤は水稲用が増加し売上高は5億21百万円（前年同期比6百万円、1.3%増）、殺虫殺菌剤は水稲用が増加し売上高は3億83百万円（前年同期比56百万円、17.4%増）、除草剤は園芸用が増加し売上高は7億20百万円（前年同期比65百万円、10.0%増）、その他は緑化用が増加し売上高は4億52百万円（前年同期比2百万円、0.5%増）、農薬外その他は緑化用が増加し売上高は4億27百万円（前年同期比1百万円、0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は80億94百万円で、前連結会計年度末に比べ4億53百万円の増加となりました。これは主に電子記録債権の増加が現金及び預金の減少を上回ったことによるものであります。

負債は48億3百万円で、前連結会計年度末に比べ1億58百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の増加がその他の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は32億91百万円で、前連結会計年度末に比べ2億95百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月期通期の連結業績予想は、2021年11月期の決算発表時（2022年1月11日）の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,161,174	1,761,951
受取手形及び売掛金	1,402,410	1,309,194
電子記録債権	603,533	1,026,941
商品及び製品	952,757	1,267,401
仕掛品	84,321	114,717
原材料及び貯蔵品	507,198	495,346
その他	66,154	59,036
貸倒引当金	△1,417	△970
流動資産合計	5,776,132	6,033,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	193,623	198,646
機械装置及び運搬具（純額）	157,728	131,063
土地	304,891	438,812
リース資産（純額）	49,893	51,425
建設仮勘定	—	28
その他（純額）	27,305	28,285
有形固定資産合計	733,442	848,260
無形固定資産		
ソフトウェア	3,823	2,281
その他	165	165
無形固定資産合計	3,989	2,447
投資その他の資産		
投資有価証券	951,558	1,050,108
繰延税金資産	90,194	71,308
その他	99,937	103,161
貸倒引当金	△14,588	△14,588
投資その他の資産合計	1,127,102	1,209,990
固定資産合計	1,864,533	2,060,698
資産合計	7,640,665	8,094,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,552	1,176,299
1年内返済予定の長期借入金	730,484	809,284
リース債務	20,487	21,972
未払法人税等	96,654	64,457
賞与引当金	17,122	56,550
販売促進引当金	113,617	—
返金負債	—	162,713
未払賞与	107,175	—
その他	436,991	192,384
流動負債合計	2,720,083	2,483,661
固定負債		
長期借入金	1,233,843	1,614,851
リース債務	33,941	34,319
退職給付に係る負債	347,606	355,780
役員退職慰労引当金	73,400	79,300
長期預り保証金	235,948	235,125
固定負債合計	1,924,739	2,319,376
負債合計	4,644,822	4,803,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	296,712	296,712
利益剰余金	1,806,088	2,051,963
自己株式	△67,969	△68,027
株主資本合計	2,699,332	2,945,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,831	238,205
その他の包括利益累計額合計	184,831	238,205
非支配株主持分	111,679	107,924
純資産合計	2,995,842	3,291,279
負債純資産合計	7,640,665	8,094,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
売上高	5,384,486	5,406,104
売上原価	3,894,215	4,108,147
売上総利益	1,490,270	1,297,956
販売費及び一般管理費	1,048,401	967,608
営業利益	441,869	330,348
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,738	13,527
受取賃貸料	2,224	2,302
受取保険金	—	2,562
倉庫保管料	9,424	7,217
持分法による投資利益	33,525	24,473
その他	5,677	9,155
営業外収益合計	60,590	59,239
営業外費用		
支払利息	9,877	10,384
その他	510	325
営業外費用合計	10,387	10,710
経常利益	492,071	378,876
特別利益		
固定資産売却益	19	127
特別利益合計	19	127
特別損失		
固定資産除却損	68	250
特別損失合計	68	250
税金等調整前四半期純利益	492,022	378,754
法人税等	146,926	110,190
四半期純利益	345,095	268,563
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,593	△2,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,501	270,864

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	345,095	268,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,970	51,044
持分法適用会社に対する持分相当額	1,671	2,627
その他の包括利益合計	17,641	53,671
四半期包括利益	362,737	322,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,163	324,238
非支配株主に係る四半期包括利益	3,574	△2,003

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年8月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識基準等の適用による主な変更点は以下のとおりであります。

(1) 変動対価に係る収益認識

当社及び連結子会社において、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費等の一部を、売上高から控除しております。

(2) 有償支給取引に係る収益認識

従来、有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工賃手数料のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用につきましては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は127,392千円減少し、売上原価は2,220千円減少、売上総利益は125,172千円減少しております。また、販売費及び一般管理費は118,782千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,390千円減少しております。利益剰余金の当期首残高は1,032千円減少しております。

前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示しておりました「販売促進引当金」は、第1四半期連結会計期間より「返金負債」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取り扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取り扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年8月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年8月31日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており、事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。